

飯村小学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

- ・当校は、地域、国際理解、環境、防災を柱に、①公園での木の実拾いや町探検に係わる活動（1・2年）、②地域の特産物であるサツマイモに係わる活動（3年）、③校区内にある岩屋緑地に係わる活動（1・4年）、④防災に係わる活動（5年）、⑤国際理解に係わる活動（6年）を行っている。

・活動の実際

①③校区内にある岩屋緑地に係わる活動（1・4年生）

里山を守るボランティア「岩屋緑地に親しむ会」の方と交流し、共に活動する中で、身近な自然、地域のよさやすばらしさを再認識することができた。

1年生は、親しむ会の方から岩屋緑地でどんぐりの種類を教えていただき、大きさや種類の異なるたくさんのどんぐりを採取した。生活科の時間にこまを作り、友達と楽しみながら遊びを創り出すこともできた。

4年生は岩屋緑地を探索し、生息している植物・動物、建立されている銅像や歴史、岩屋緑地の魅力について説明を受けながら調べた。



岩屋緑地探検

今の魅力的な岩屋緑地を未来へつなぐために自分たちにできることを考え、グループで新聞づくりを行った。岩屋緑地の魅力を下級生に伝えた後、地域の方へ発信していく予定である。

②地域の特産物であるサツマイモに係わる活動（3年生）

飯村の特産物であるサツマイモの作り方を校区のサツマイモ農家の方から学び、校庭農園にサツマイモを育てた。その世話を通して収穫の喜びを味わうとともに地域の人々との交流を図り、地域への愛着を深めた。また、サツマイモの種類や育て方など興味をもったことを調べ、まとめた。



収穫を楽しむ児童たち

⑤国際理解に係わる活動（6年生）

豊橋市に多くの外国の方が暮らしていることや、多文化共生に関する取り組みについて学んだ。また、飯村小学校にもたくさんの外国から来た友達がいることを踏まえ、皆が仲よく楽しく安心して過ごすことができるような飯村小学校にしていこうと、「多文化共生プロジェクト」を立ち上げ行動してきた。いろいろな国の人が共に学校で暮らすためにできることや友達の国の文化について紹介したり、表示や辞典をつくったりしながら、飯村の多文化共生を自分たちの手で進めた。



児童たちが作成した表示